

# 【米沢市】の部活動改革の取組み

## 自治体の現状と課題

- 今後少子化が進み、本市の中学生の数は令和8年度は1834名に対して、10年後の令和18年は1179名と、655名減少する。部員が減少し連係プレーや練習試合など十分な人数での活動が困難となり、スポーツ・文化芸術活動の楽しさや良さに触れる機会が減少し体験格差が生じている。
- 現在、生徒の新たな活動の場を各競技の連盟、協会と協力して整備している。今年度は、13種目において連盟、協会の協力をもと新たな地域クラブを立ち上げ、先行して実証事業を実施している。
- 活動が始まって間もないため、特に保護者の理解が進んでいない。アンケート調査を行った結果、月謝・移動手段・指導者への不安が多く上がった。今後も丁寧な説明が必要である。

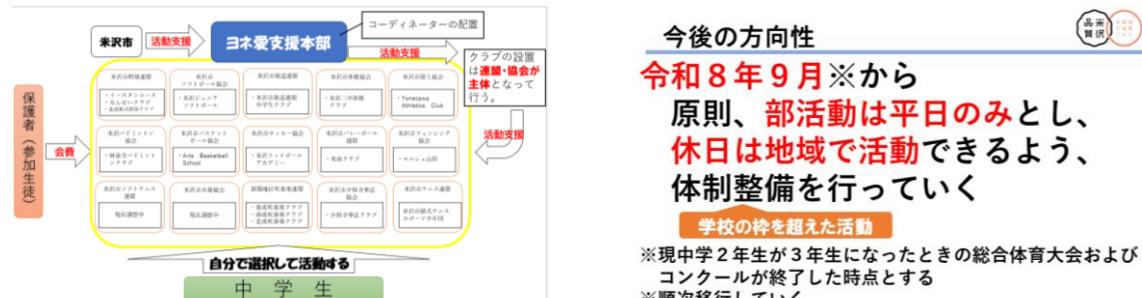
## 地域クラブ活動等の概要

中学校数	6校	全生徒数	1880人
域内の部活動数	71部	実施した地域クラブ数	17クラブ
全体の指導者数	88人	全体の運営スタッフ数	78人
主な運営団体	各連盟・協会		
主な種目	剣道		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	3年：10人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：13人/クラブ
参加会費	500円/年	主な活動場所	市営体育館

## 地域展開関連の取組・成果

- 指導者の確保について、連盟・協会が中心となり、指導経験がある方を中心広く呼び掛けたことで、指導経験豊富な指導者に指導してもらっている。
- 活動するクラブ数を検討し、適正な規模で実施することにより、日頃行うことができない練習（連係プレーや試合形式等）を行うことができ、競技の専門性に触れることができた。
- 活動を行っていくうえで保護者の理解が重要になってくる。プリントによるお知らせや説明会を通して、少しずつ活動の趣旨やねらいが周知されてきている。
- 要件を満たしたクラブを「米沢市スポーツ挑戦文化創造クラブ」通称「ヨネ愛」とし、認定してきたことで、安心安全な活動につながった、

## 運営体制図・ロードマップ（自治体独自）



今後の方向性

令和8年9月※から  
原則、部活動は平日のみとし、  
休日は地域で活動できるよう、  
体制整備を行っていく

学校の枠を超えた活動

※現中学2年生が3年生になったときの総合体育大会および  
コンクールが終了した時点とする  
※順次移行していく。

## 地域クラブ「ヨネ愛」の構想



# 【米沢市】の部活動改革の取組み

## 活動の様子



ヨネ愛で活動中の  
生徒の様子